

スクールゾーン 実行委員会便り

令和7年7月 札幌市立西小学校
スクールゾーン実行委員会
会長 加藤 優貴



7月14日(月)、西小学校2階多目的室で、令和7年度第1回スクールゾーン実行委員会を開催しました。会には、西区市民部、西区土木部、西警察署の方々や地域の町内会会長・交通部長、スクールガードリーダー、本校PTA役員などの方々にご参加いただきました。会の中で、現在までの交通安全の取組や今年度の実行委員会の活動計画、児童の安全確保等が話題となり、児童の安全のための交流をじっくり行いました。



【報告や計画、交流の概要】

① 令和6年度活動報告、令和7年度活動計画や西小学校・PTAの取組

- ・学期初めの登校の見守り活動、日常的な登下校見守り活動の実施。
- ・交通安全指導や交通安全教室の実施。
- ・交通安全情報を「すぐーる」で各家庭に配信し、注意喚起を図っている。
- ・交通事故発生箇所における信号機付き横断歩道設置の要望書提出。電柱巻き付け看板の設置。
- ・保護者が「ネームホルダー」「みまもりすバッジ」を付けながら見守りを実施。



② 関係者の方々より

- ・市内で、青信号で渡った児童が車両と接触した事故の報告がある。また本校周辺では、交通安全指導員が付く箇所において、児童自身で車や信号を見ていないことがある。「自分の身は自分で守る」ことを、具体的に指導する必要がある。
- ・児童に対し、自転車の正しい乗り方の指導はもちろん大切だが、大人が運転する自転車との接触事故も心配であるため、その指導も行っていく必要がある。
- ・スクールガードの服装でパトロールしていると、車両を運転する大人や不審者らしき人物等に警戒心が生まれ、抑止力になると考えられる。「みまもりすバッジ」の着用による「ながら見守り」も、効果がある。
- ・町内会では交通安全総決起大会を行い、住民の交通安全の意識を高めている。

【子どもたちへの交通安全 指導のポイント】

☞ 正しい交通ルールやマナーを親と子でいっしょに確認しましょう

- ・合言葉は、「とまる」「みる」「きく」「まつ」

「とまる」 一番多い交通事故の原因は「飛び出し」。必ず一度は止まる！

「みる」 ただ何気なく見るのではなく、「しっかり見る」。

「きく」 見えない所から車が来るかも。「音をよく聞く」ことも大事。

「まつ」 青信号で車が必ず止まるとはかぎらない！

なので、「車が完全に通り過ぎるまでまつ」ことを忘れない。

「自分の身は自分で守る」が大切です！！

☞ 大人が「お手本」を見せましょう！

- ・子どもたちは大人のことをよく見ています、まずは大人から交通ルールの遵守を。

☞ 自転車に乗る際は「ヘルメット」の着用を！

- ・子どもはもちろん、大人も、「ヘルメット」を着用。家族みんなでかぶりましょう。

